

月平均の家計簿

(平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月)

市のお財布事情をわかりやすく説明するために、仮想の家計を市の財政にあてはめて、家計簿を作りました。家計簿は、規模をイメージしやすいように、市の平成 27 年度決算額を 5,000 分の 1 に縮小し、12 カ月で割ることによって 1 カ月分を算出しています。



収入

平成 26 年度からの増減

給料 (基本給)	110,000 円	(0 円)
市税 (市民の皆さんから納めていただいた税金。市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など)		
給料以外の諸手当	101,700 円	(+9,200 円)
地方交付税など各種交付金 (国税・県税のうち、市の取り分として譲与・交付されたお金)		
パート収入	62,500 円	(+17,500 円)
諸収入 (預金利子、貸付金元利収入、雑入など)		
使用料・手数料 (施設の使用料や住民票の交付手数料など)		
親からの援助金	81,700 円	(+20,100 円)
国庫支出金 (国からの補助金など)		
県支出金 (県からの補助金など)		
ローン (借入金)	17,500 円	(-2,500 円)
市債 (国や銀行から借りたお金)		
預貯金取り崩し	5,800 円	(-5,900 円)
繰入金 (基金から引き出したお金)		
繰越金	13,300 円	(+7,500 円)
繰越金 (前年度に残ったお金)		

●収入合計 392,500 円 (+45,900 円)

支出

平成 26 年度からの増減

食費	54,200 円	(+900 円)
人件費 (職員の給与など)		
光熱水費などの雑費	54,200 円	(-1,600 円)
物件費 (光熱水費・消耗品費・委託料など)		
修理代	7,500 円	(+3,300 円)
維持補修費 (道路や施設を維持するために必要なお金)		
医療費・保険料	65,800 円	(+800 円)
扶助費 (生活保護、障害者支援、医療費助成など福祉に使ったお金)		
教養費	34,200 円	(-3,300 円)
補助費 (負担金、補助金など)		
子どもへの仕送り	34,200 円	(+10,000 円)
繰出金 (介護保険事業や下水道事業などの他会計への繰出金)		
ローン返済	27,500 円	(-800 円)
公債費 (借金の元金・利子返済金)		
家や庭の建築・改修	55,000 円	(+20,900 円)
普通建設事業費 (道路や施設などの新築や改築に使ったお金)		
災害復旧費 (台風などで被災した施設を復旧するためのお金)		
貯金	34,100 円	(+13,200 円)
積立金 (将来に備えて積み立てたお金)		
貸付金 (被災支援や勤労者に貸したお金)		

●支出合計 366,700 円 (+43,400 円)

収入 - 支出 25,800 円 (+2,500 円)

給料が相変わらず上がってきていないのが心配。でも、諸手当やパート収入が増えたから預貯金取り崩しが少なくなってよかった。

修理代と家や庭の建築・改修が増えてきている。出費が大きいため計画的にしないと心配。でも、貯金がしっかりと出来ているのは安心できる。



《参考》

市民 1 人当たりに使ったお金 437,283 円 (平成 26 年度 382,115 円)
1 世帯当たりに使ったお金 1,119,410 円 (平成 26 年度 992,673 円)

〈平成 28 年 3 月 1 日現在〉人口 50,259 人、世帯数 19,633 世帯

富岡市の財政状況

平成 27 年度健全化判断比率 (表 1) および平成 27 年度資金不足比率 (表 2) は、財政健全化法により、議会に報告し公表が義務付けられているものです。表のとおり、いずれの比率も基準を下回って、問題はありません。

財政健全化法 (地方公共団体の財政の健全化に関する法律)

地方公共団体の財政の健全性に関する比率を公表する制度を設け、その比率に応じて、健全化の計画を立てるなどにより、財政の早期健全化や再生に役立てることを目的とした法律です。平成 19 年 6 月に施行されました。

(表 1) 平成 27 年度 健全化判断比率

単位 %

健全化判断比率	平成 27 年度本市の比率	早期健全化基準 (イエローカード)	財政再生基準 (レッドカード)
①実質赤字比率	実質赤字額なし	13.05	20.0
②連結実質赤字比率	連結実質赤字額なし	18.05	30.0
③実質公債費比率	9.1	25.0	35.0
④将来負担比率	-	350.0	

※将来負担比率は、算定値が 0 未満のため「-」と表示

(表 2) 平成 27 年度 資金不足比率

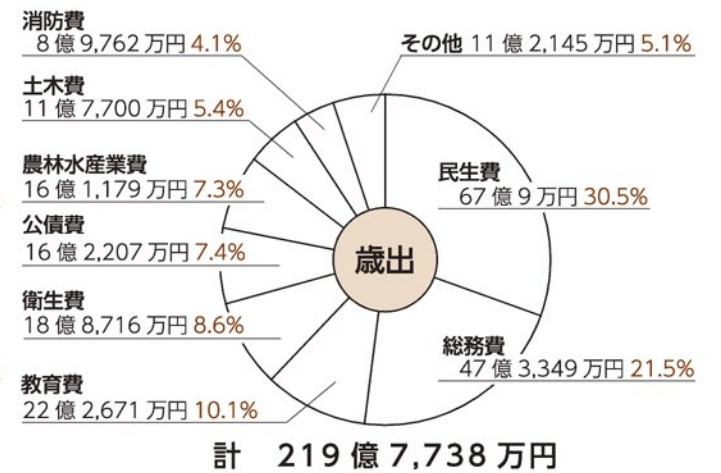
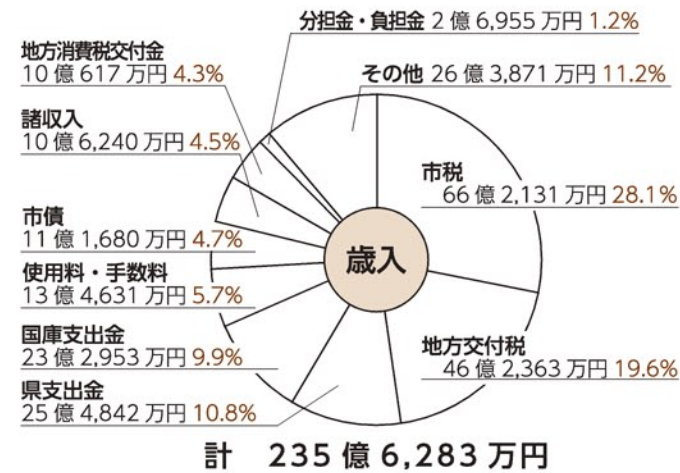
単位 %

特別会計の名称	平成 27 年度本市の比率	経営健全化基準
水道事業会計	資金不足額なし	20.0
ガス事業会計		
公共下水道事業特別会計		
農業集落排水事業特別会計		
浄化槽整備推進事業特別会計		

●問い合わせ 財政課財政係 (☎内線 1242)

市のお金 (予算) が、どのように使われているのかを市民の皆さんに知っていただくため、市の財政状況をお知らせします。

一般会計決算状況



市税の収納状況

税目	予算現額	収入済額	収入率
市民税	27 億 2,561 万円	28 億 8,921 万円	106.0 %
固定資産税	30 億 3,165 万円	30 億 3,153 万円	100.0 %
軽自動車税	1 億 2,324 万円	1 億 2,697 万円	103.0 %
市たばこ税	3 億 1,958 万円	3 億 1,816 万円	99.6 %
土地保有税	0 万円	0 万円	0.0 %
都市計画税	2 億 5,011 万円	2 億 4,782 万円	99.1 %
入湯税	718 万円	762 万円	106.1 %
計	64 億 5,737 万円	66 億 2,131 万円	102.5 %
国民健康保険税	13 億 9,538 万円	12 億 9,632 万円	92.9 % (特別会計)

特別会計決算状況

会計別	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険事業	66 億 2,449 万円	64 億 1,498 万円
後期高齢者医療事業	5 億 6,406 万円	5 億 5,775 万円
介護保険事業	41 億 2,305 万円	39 億 5,924 万円
特別養護老人ホーム事業	5 億 790 万円	5 億 790 万円
公共下水道事業	5 億 6,743 万円	5 億 6,674 万円
農業集落排水事業	9,439 万円	9,338 万円
浄化槽整備推進事業	1 億 7,975 万円	1 億 7,869 万円